

第17回東京都バトントワーリングコンテストにおける感染予防対策

大田区総合体育館

新型コロナウイルス感染症に伴い、「第17回東京都バトントワーリングコンテスト」大田区総合体育館開催における予防対策として、関係者が安全、安心に参加できるよう、スポーツ庁、大田区総合体育館、一般社団法人日本バトン協会のガイドラインに基づき次のように実施する。

また、今後の東京都感染状況や疫学的な知見の集積等を踏まえ、急な変更及び中止を行う場合もある。本大会関係者に対し、事前に遵守すべき事項を明確にし、遵守いただけない際には、他の入館者の安全を確保する等の観点から、参加の取り消し及び途中退場を求める場合がある。

以下、協会の感染予防対策の遵守をお願いする。

1. 基本的な事項

政府新型コロナウイルス感染症対策本部からの公表された「新型コロナウイルス対策の基本的対処方針」及び厚生労働省から公表された「新しい生活様式」等に即して、主催者側と参加団体側で対応事項を共有する。

(1) 以下の健康状態に該当する方は、来場を控えていただく。

- ・体調が優れない場合(例:発熱 37.5 度以上・咳などの症状がある方)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている方
- ・国地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある方

(2) 密閉・密集・密接の「三つの密」を徹底的に回避する。

①密閉 (換気の悪い密閉空間)

対策

- ・二カ所以上の窓や扉を開け換気をする。

②密集 (大勢が集まる密集場所)

対策

- ・多人数が一同に会することを避ける。時間帯や場所を分ける。
- ・入場口では、2m 間隔の目印をつけ、整列する。
- ・向かい合って座らないようにする。
- ・席を離す。(固定席を縦横空けて使用する)
- ・会場内での滞在時間を必要最低限とする。

③密接 (近い距離で会話や発声)

対策

- ・入館者全員にマスクを着用してもらう。(運動中は可能な範囲で着用)

- ・ 大きな声での会話、応援等しない。
- ・ 接触を避け、距離(できるだけ2m以上)を確保する。
- ・ 施設での飲食は禁止。(飲み残し、ゴミは持ち帰る)

(3) その他

- ・ 咳エチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策の徹底
- ・ 体温測定並びに症状の有無を確認し、具合の悪い方は参加させない。
- ・ 開始前・終了後には必ず手洗い、アルコール消毒による手指消毒を行う
- ・ 手具やタオル等は各自で持参し共用はしない。
- ・ 小まめな水分補給を行うときも、手洗い・手指消毒を行う。

2. 主催者側が行う感染予防対策

(1) 入館者の管理

- ・ 予め参加者(来場者)及び運営スタッフ全員の氏名・連絡先のわかる名簿を作成し、個人情報の取り扱いに注意し1ヶ月保管する。名簿に記載された方以外は、会場への入室を禁止する。
- ・ 当日の体温チェック、2週間前後の体調観察を行う。

(2) 当日について

- ・ 主催者側用マスク・フェイスシールド、アクリル板・アルコール消毒液・ハンドソープなどの感染予防に必要な用度の準備をし、適切な場所に設置し安全に努める。
- ・ 入館・チェックインなどの際、混雑しないように余裕をもった時間の配慮を行う。
- ・ 他の選手との接触を避ける為の導線で行う。
- ・ 席の使用禁止箇所等の表示設置をする。
- ・ 文具及び用度品の共用は行わない。
- ・ 共有部分である、トイレ、手すり、ドアノブ、ボタン類に関しては、こまめに清掃、消毒を行う。
- ・ 換気を行う際、扉を開放するため近隣への音漏れに配慮を行う。
- ・ 手洗い・消毒・マスク着用の呼びかけをし、設置場所についてのアナウンスを入れる。
- ・ 最高得点者はHPにて発表し、演技披露は行わない。
- ・ 開会式・閉会式は、多人数が一同に会することは行わない。

(3) 終了後について

- ・ 事業終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大田区総合体育館に報告するとともに施設からの指示を仰ぎ、感染拡大予防対策に協力する。

3. 参加団体側にお願いする感染予防対策（選手・引率者）

- すべての入館者の氏名・年齢・住所・連絡先(TEL)を提出する。
- 大会2週間前後の体調管理をし、体調については、当日「選手・引率者チェックシート」を提出する。
- 感染の可能性がある場合は自主的に参加を見合わせる。
- 参加団体に配信する感染対策に於ける注意事項を遵守する。
- 事業終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告し、感染拡大予防対策に協力する。